

第 8 章 臨床研修委員会

1. 臨床研修委員会の立場

- (1) 協力型臨床研修病院として、令和 2 年度もさいたま赤十字病院から 20 名、埼玉医科大学病院から 1 名、三井記念病院から 2 名の初期研修医をそれぞれ受け入れた。1 か月間の研修を感染免疫科、消化器肝臓科、血液腫瘍科、総合診療科、新生児科、集中治療科がそれぞれ担当した。
- (2) 小児科専門研修（以前は後期研修と称した）について、平成 29 年度からスタートした新専門医制度で当センターは基幹病院として日本専門医機構により承認されている。

2. 小児科専攻医(レジデント)

- (1) 今年度は以下の 5 名の専攻医を迎えた：青山周平、齋藤佳奈子、坂田慎一郎、宮下晶、山木亮一。
- (2) 3 名の専攻医の研修修了を承認した：竹田里可子、谷柚衣子、梁偉博。この 3 名は、2021 年秋に予定されている小児科専門医試験を受験予定である。規定のプログラムを修了し、試験出願の必須項目となっている論文投稿もクリアした。
- (3) 2021 年度採用分の専攻医試験を行い、定員の 5 人を合格とした。

3. その他

- (1) コロナ禍の影響
 - ・サマーセミナーを中止した
 - ・病院見学件数の減少に伴い、オンライン説明会（全 3 回）を開催した。
- (2) 専攻医評価について、専攻医の人数が年々増加して評価スケジュールも過密になってきた。Google フォームを活用して、作業の効率化を図っている。
- (3) 成都会という、従来は国立成育医療研究センターと都立小児総合医療センターのレジデントが開催していた合同カンファレンスに 2018 年から当センターも参加させてもらい、2019 年から正式加入となった(成都埼に名称変更)。臨床研修委員会は後援という立場で、2021 年 1 月に初の埼玉主管（web 開催）として開催された。

(田中学)